

神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年9月28日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所

第 38週 平成29年9月18日 ～

平成29年9月24日

インフルエンザ

設置定点数 48 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ	2								1	3			1					1			1									

小児科

報告定点数 31 ケ所

設置定点数 31 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
R Sウイルス感染症	5		2		8	1	6	7	9	38	6	5	14	7	5	1								
咽頭結膜熱	1					1	1	1		4						1	1	1		1				
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	4	4	3			1	1	3	1	17				3	1	2	1	3	3	1		3		
感染性胃腸炎	5	4	3		13	9	14	31	8	87	1	9	17	15	6	9	1	5		5	5	6	1	7
水痘							1	3	1	5							3		1		1			
手足口病	1				1	1	5	6	1	15	1	3	2	3	1	1	3					1		
伝染性紅斑					1					1												1		
突発性発疹	1					3	1	1	3	9		3	3	1	2									
百日咳																								
ヘルパンギーナ	1		1		1		2	5	1	11		3	2	1		1	1			1	1	1		
流行性耳下腺炎	1				2		2	2	3	10					1		4	1	1	1		2		

今週、梅毒の報告が2例ありました。今年47例目の報告で、昨年の同時期より増加しています。年代別では20代が47例中19例と一番多くなっています（20代の報告数 H28:16例、H27:10例）。

また、妊娠中に感染が判明した例も報告されています。妊婦が感染すると、胎盤を通して胎児に感染し、死産、新生児死亡、奇形など（先天梅毒）を引き起こすことがあります。毎年、全国で10例を超える報告があります。

梅毒は性感染症です。早期の薬物治療で完治しますが、治療せずに長期間放置すると、脳や心臓に重大な合併症を起こすことがあります。また、完治しても、再感染することがありますので、予防が大切です。

[梅毒 | 神戸市](#)

報告定点数 10 ケ所

設置定点数 10 ケ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎	1						1			2															1	1			

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

灘 区○マイコプラズマ肺炎1例:8歳 男
中央区○細菌性腸炎(カンピロバクター)1例:1歳 男
西 区○ロタウイルス感染症1例:年齢性別不明

【基幹定点(市内 3ヶ所)からの報告】
マイコプラズマ肺炎1例:4歳 男

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「山情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

【市内の感染症の状況】

○インフルエンザ

9月25日、市内の小中学校から今シーズン最初の学級閉鎖の報告がありました。
まだ、流行期では、ありませんが、今後の動向に注意しましょう。

○RSウイルス

RSウイルス患者の報告が、定点あたり1.2人となり、先週より減少しています(先週2.3人)。
患者数は、過去10年同時期と比較して、多い数で推移しています。

○腸管出血性大腸菌感染症

市内では、8月から9月下旬までに計19件の腸管出血性大腸菌感染症の発生届がありました。
報告数は、例年並みですが、9月に入ってから、腸管出血性大腸菌O157のなかでもベロ毒素のVT2型が多いです(9件中5件)。
なお、ここ1週間、患者発生の報告はありません。

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2017年9月28日作成

全数把握対象感染症発生状況 (四類感染症 レジオネラ症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	40代	2017年9月22日	2017年9月22日	2017年9月22日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出 (イムノクロマト法)	発熱、肺炎	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2017年9月10日	2017年9月13日	2017年9月21日	-	分離・同定による病原体の検出 (血液)	発熱、肺炎	不明	ワクチン接種歴不明

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	70代	2017年9月10日	2017年9月10日	2017年9月14日	-	血液培養 薬剤耐性の確認	菌血症	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 後天性免疫不全症候群)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
男	20代	2017年5月	2017年8月2日	2017年9月19日	患者 (AIDS)	ELISA法 HIV抗原検査	ニューモシスチス肺炎 非結核性抗酸菌症	異性間性的接触	-

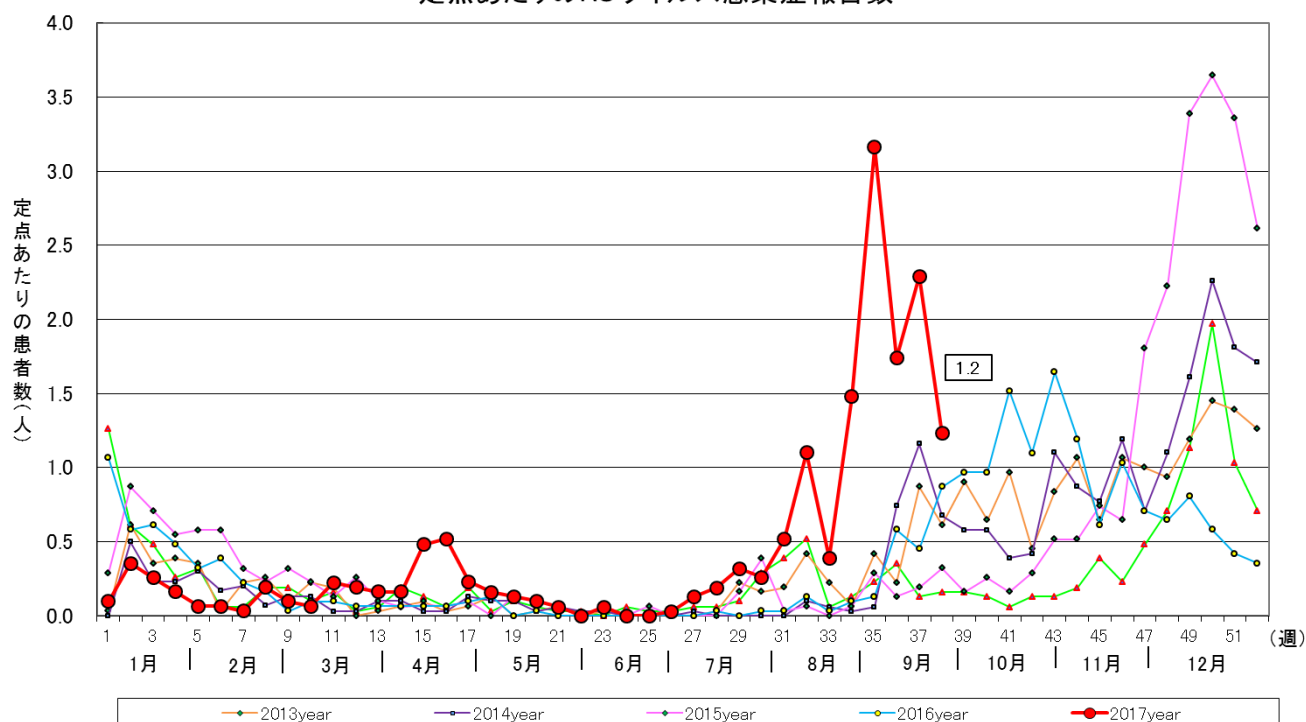
全数把握対象感染症発生状況 (五類感染症 梅毒)

性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法 (検査法)	症状	推定感染原因	備考
女	30代	2017年9月2日	2017年9月8日	2017年9月12日	早期顕症梅毒Ⅰ期	RPRカードテスト TPHA法 FTA-ABS法	硬性下疳 鼠径部リンパ節腫脹 (無痛性)	性的接触	-
男	50代	2017年4月頃	2017年4月7日	2017年9月1日	早期顕症梅毒Ⅰ期	RPRカードテスト TPHA法	硬性下疳	性的接触	-

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
エコーウイルス9型	唾液	兵庫	1歳2ヶ月女児 (9/6採取、38.6℃、ウイルス性発疹症)
	髄液、便 鼻腔ぬぐい液	中央	0ヶ月男児 (9/8採取、40℃、無菌性髄膜炎、感染性胃腸炎)
コクサッキーウイルスA10型	咽頭ぬぐい液	中央	1歳5ヶ月男児 (9/11採取、38.7℃、ヘルパンギーナ)
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	中央	1歳11ヶ月男児 (9/13採取、38.5℃、RSウイルス感染症)
	鼻腔ぬぐい液	中央	1歳6ヶ月男児 (9/13採取、40℃、RSウイルス感染症)

定点あたりのRSウイルス感染症報告数



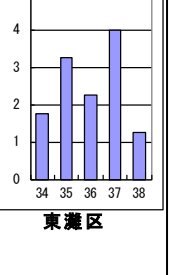
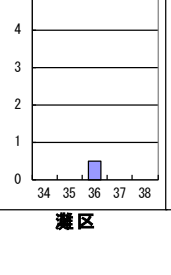
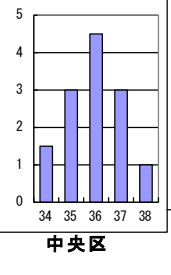
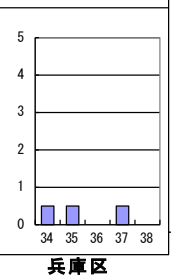
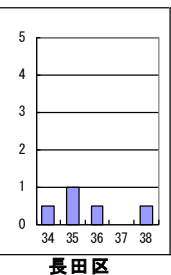
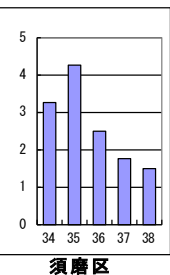
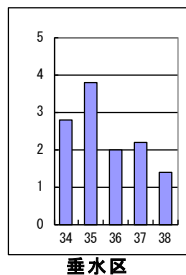
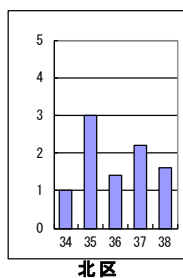
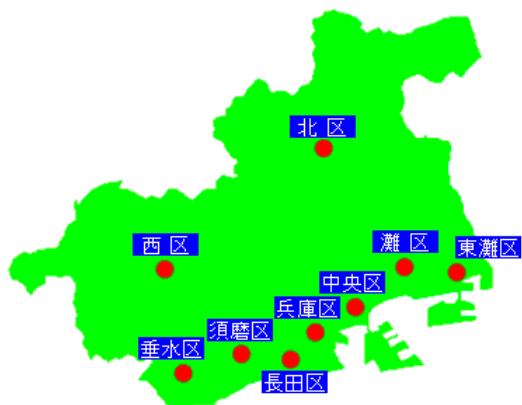
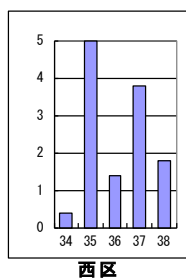
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 34 週 平成29年8月21日

～

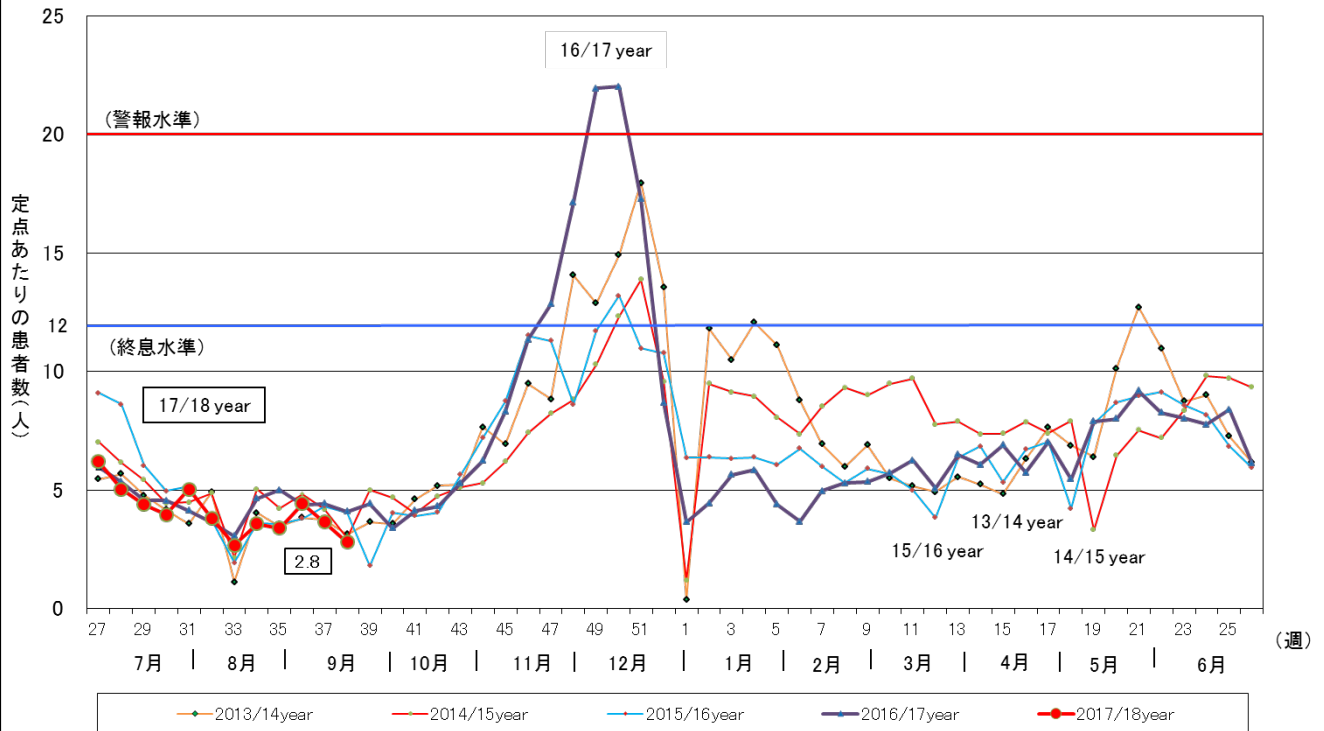
第 38 週 平成29年9月24日

RSウイルス感染症



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



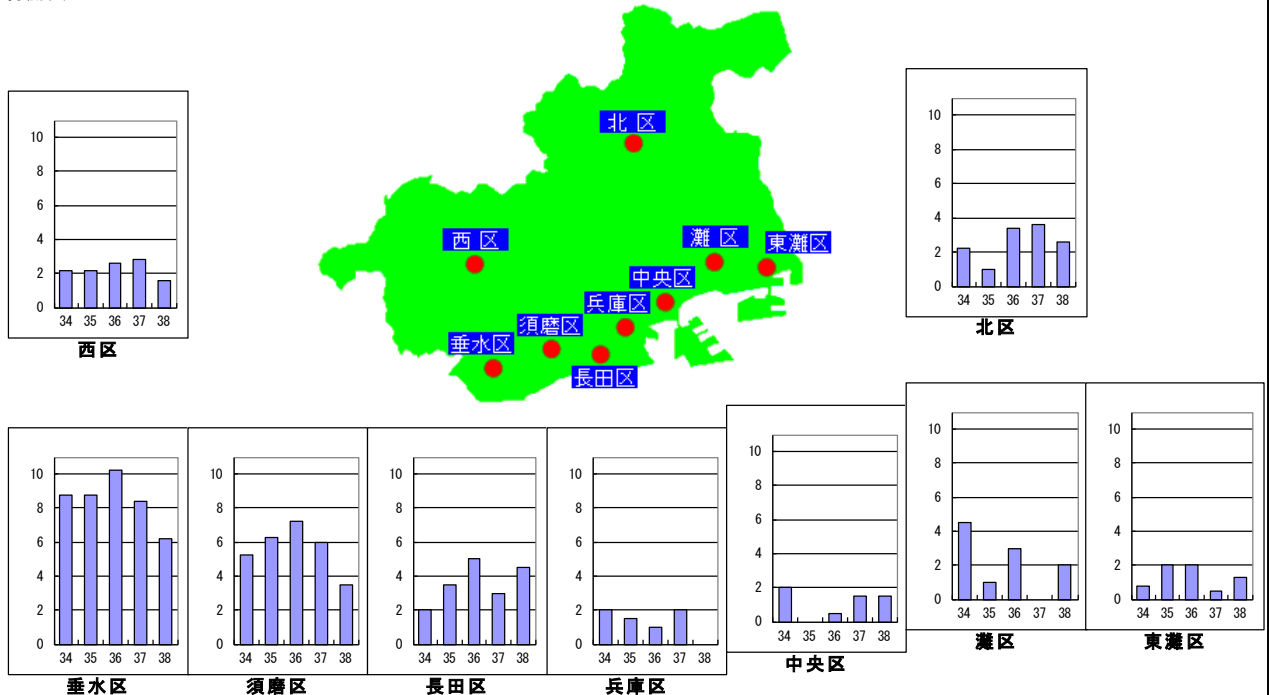
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 34 週 平成29年8月21日

～

第 38 週 平成29年9月24日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。